



【何度も、カメラを向けるとVサインでポーズする子もいて可愛いのだ】

宿泊ホテルのそばにある中学校である。
寺院の境内に隣接しており、朝、ここを散歩することが多い。
学校に部外者が入って行っても、咎めるひとは誰もいない。
実におおらかなのである。

かくして、今日も、慣れた行動で構内に入り、散策する。
すると、教室を移動する生徒の列。
そこに立つ私に対し、次々に手を合わせ、ニコッと微笑んで通り過ぎる。
この集団だけではない。
誰かが、私をみつけると、手を合わせ、それに促され、他の皆もが、同じようにして微笑んでくる。
「おはようございます。ようこそ」と。

一体これは何なのであろう。
タイの友人に聞いてみたことがある。
一見して年配、また外国人とわかるような人間の私に対し、敬意を表す行動の由。
これに限らず、タイ人にとって挨拶は最も重要な躰であり、手を合わせる作法も含め、学校教育のなかでも徹底されている、という。
さらに友人曰く、この挨拶に対し、同様に手を合わせ、返すようなことはしないほうがいい、と。
タイでは、目上が目下に対し、手を合わせることは、異様に映るのだ。

この話を聞いてからは、こちらから手を合わせることはずっと我慢し、かわりに精一杯の笑顔を作る。
そして、今日も、心のなかで「ありがとうみんな、勉強がんばれよ」と叫んだのだ。